

主要農作物の生育・出荷状況

令和2年8月26日現在
南会津農林事務所農業振興普及部

1 主要農作物の生育・出荷状況

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稻】 ○出穂期は平年並であり、その後の登熟は良好である。 出穂始期：8/2（平年比±0日）、盛期：8/7（同+2日）、終期：8/15（同+1日） ○一部で穂いもち及び紋枯病が発生しているが、現在のところ紋枯れ病に関しては、減収のおそれがある止葉、穂への進展までには至っていない。</p> <p>【そば】 ○7月中～下旬まで梅雨が長引いたため耕耘・播種作業に遅れが生じたが、8月上旬までに播種が行われ、出芽・生育は良好である。 ○作柄判定は調査結果（8/25） 主茎長：105.7cm（平年比109.9%）、主茎節数：10.2節（同107.1%） 分枝数：2.1本（同87.5%）、倒伏発生程度：無</p>
野菜	<p>【トマト】 ・8月に入ってようやく梅雨が明けたものの、7月の断続的な降雨・日照不足の影響を受け、ほ場の一部で湿害発生や7月下旬開花した花房の花落ち等が見られた。病虫害は、梅雨時期からの灰色かび病、葉かび病・すすかび病の中上位葉への進展、管内全域で疫病の初発が確認された。害虫は、アザミウマ類・タバコガ類及びコナジラミ類が散見される。 （7/10～8/9の出荷状況）（前年比、直近3か年比の順に記載） ・出荷量（109%、114%）、金額（149%、134%）、単価（137%、118%）</p> <p>【アスパラガス】 ・半促成栽培 前年と同様の7月下旬～8月中旬まで夏どりの出荷ピークを迎えた。 ・露地栽培 前年と同様の8月上旬～8月中旬まで夏どりの出荷のピークを迎えた。 ・8/11現在 出荷量 前年比95%、金額 前年比87%、単価 前年比91% ・病虫害 茎枯病が前年に比べ増加している。斑点病および褐斑病が発生している。</p>
花き	<p>【リンドウ】 ・西部地区（8月17日現在） 彼岸品種 草丈138.6cm（平年比96%）、節数27.9（平年比95%） ・開花が10～12日程度前進しているため、彼岸の需要期に出荷量の減少が心配される。 ・長雨・日照不足の影響で、褐斑病の発生が多い。</p> <p>・東部地区（8月15日現在） 彼岸品種 草丈119.2cm（平年比113%）、節数27.4（平年比105%） 長雨・日照不足の影響で葉枯病、褐斑病が少～中発生。 既に花卉着色しているものが散見。</p>

	<p>【カスミソウ】 新植株の栽培、出荷が進められている。8月に入り高温となったことで、開花が進んでいる。 タバコガ類、アオムシ類が少発生。 単価は上位規格で250～300円（昨年より約80円高い）</p>
果 樹	<p>【リンゴ】 ○「ふじ」（南会津中荒井地区）の果実肥大状況は8月14日現在、縦径および横径が平年比で98%、99%と平年並みで推移している。 ○作業進捗に遅れはみられない。 ○一部園地でハダニ類・カメムシ類が発生している。</p>
畜 産	<p>【飼料作物】 永年性牧草2番草の収穫は8月中旬に終了した。降雨の影響により収穫が大幅に遅れた草地があり、雑草の混入等品質低下が認められた。 稲WC Sについては、前年より約4ha増加の27.0haの作付、8/17から機械収穫開始となった。</p>